

みずほCustomer Desk Report 2019/10/31号 (As of 2019/10/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.87 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.88	1.1112	120.97	1.2865	0.6857
SYD-NY High	109.28	1.1151	121.40	1.2908	0.6905
SYD-NY Low	108.72	1.1080	120.89	1.2846	0.6849
NY 5:00 PM	108.85	1.1150	121.36	1.2903	0.6904
NY DOW	27,186.69	115.27	日本2年債	-0.22	▲1.00bp
NASDAQ	8,303.98	27.12	日本10年債	-0.12	▲1.00bp
S&P	3,046.77	9.88	米国2年債	1.6006	▲3.99bp
日経平均	22,843.12	▲131.01	米国5年債	1.6069	▲5.09bp
TOPIX	1,665.90	3.22	米国10年債	1.7742	▲6.17bp
シカゴ日経先物	22,940.00	5	独10年債	-0.3565	▲0.20bp
ロンドンFT	7,330.78	24.52	英10年債	0.6830	▲2.50bp
DAX	12,910.23	▲29.39	豪10年債	1.1330	▲2.50bp
ハンセン指数	26,667.71	▲119.05	USDJPY 1M Vol	5.05	▲0.25%
上海総合	2,939.32	▲14.86	USDJPY 3M Vol	5.59	▲0.04%
NY金	1,496.70	6.00	USDJPY 6M Vol	6.13	▲0.01%
WTI	55.06	▲0.48	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	178.31	▲0.06	EURJPY 3M Vol	6.23	▲0.05%
ドルインデックス	97.65	▲0.04	EURJPY 6M Vol	6.65	▲0.02%

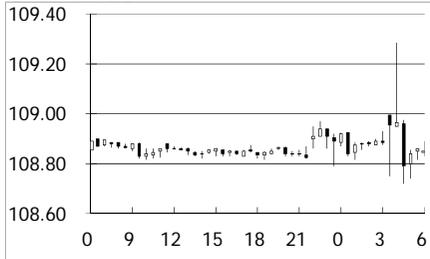
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月30日	21:15	米 ADP雇用統計	10月 125k	110k
	21:30	米 GDP (前期比年率)・速報	3Q 1.9%	1.6%
	21:30	米 個人消費・速報	3Q 2.9%	2.6%
	21:30	米 コアPCE (前期比)・速報	3Q 2.2%	2.2%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.0%/1.1%	0.0%/1.0%
10月31日	03:00	米 FOMC 政策金利	-	1.75%-1.50%
	03:30	米パウエルFRB議長「金融政策は適切。早期利上げは考えていない。」		1.75%-1.50%

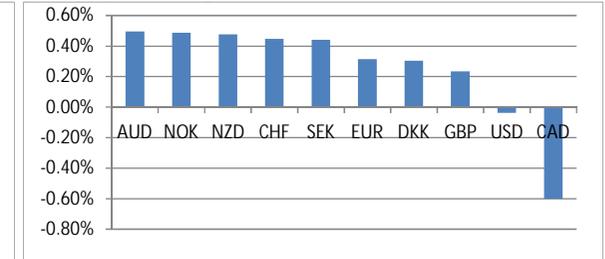
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月31日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	10月 49.8/53.6	49.8/53.7
	日	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)	3Q 0.1%/1.1%	0.2%/1.2%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	9月 0.3%/0.3%	0.4%/0.1%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	9月 0.0%/1.4%	0.0%/1.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 結局は政治

本日未明のFOMCでは、7月・9月に引続き25bpの利下げを実施。声明文では「適切に行動する」とのコメントを4会合ぶりに削除し、今後の利下げ休止を示唆する一方で、パウエル議長の記者会見では状況次第で今後の利下げの可能性も排除せず、S&Pは再び過去最高値を更新するなど無難に消化したと言えよう。

本日日中に控える日銀金融政策決定会合については、米中通商協議、ブリグジット交渉が好転の兆しを見せ、消費増税の影響も不透明な中、貴重な緩和策のカードを切るとは考え難く、経済・物価見通しの下方修正やフォワードガイダンスの延長に留まり、波乱のない展開を予想している。

日米ともにビッグイベントではあるが、いずれもドル円相場のドライバーとはなり得ず、結局、今後の展開は米中通商協議次第と考えている。来月のAPEC首脳会議は中止となったが、ホワイトハウスは米中通商合意のタイムフレームに変更なしとの見解を表明しており、予定通りの協議実施となりそう。市場でも楽観的な見方が台頭しつつあるが、これまで米中通商協議が辿った交渉決裂・緊張緩和の繰り返しを踏まえ「現時点でポジションを一方に傾けるのはリスク」と捉えている市場参加者も相応にいらっしゃる。今後、米中の部分合意実現が現実味を帯びるにつれ、期待感の高まりと共にリスクオン地合いが強まり、ドル円は、現在レジスタンスとなっている200日移動平均線を明確に上抜け109円台後半まで上値を伸ばす展開を予想している。しかし、米中貿易戦争が勃発した当初からの課題である知的財産権や技術移転等、米中通商協議の完全決着への道のりは長く、11月中の米中合意に向けて期待感と共に上昇するであろうドル円も110円を上抜けるほどの勢いはなく、11月後半はsell the factで失速する懸念があり、109円台は丁寧な売りヘッジをおすすめしたい。(逸見)

東京	東京時間のドル円は108.88レベルでオープン。米第三四半期GDPやFOMCを控えて様子見の展開となり幅6銭の狭いレンジ推移。公示に向けて108.82まで下落したが、その後は切り返して108.84レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.84レベルでオープン。米金利政策決定の発表や米第三四半期GDP(速報値)を午後後に控え、極めて狭いレンジで推移。108.84レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2867レベルでオープン。12月12日に総選挙を実施する特例法の可決が好感された模様。小幅に高値を切り上げ、1.2897レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米GDPやFOMCの発表待ちで様子見ムードが広がる中、109.00手前の狭いレンジで推移し、108.84レベルでNYオープン。朝方は米第三四半期GDP(速報値)の予想を上回る結果にドル買いで反応し、108.97まで上昇するが、次のイベントを控える中、積極的な買いは長続きしなかった。その後、「リが11月予定のAPEC首脳会議をキャンセル(同会議で米中貿易部分合意の署名が行われると見られていた)」との報道を受けて、108.79まで下落する場面もあったが、108.90近辺での推移が続く。14時発表のFOMCでは、事前予想通り今年3度目の利下げが発表されたほか、声明文から「適切に行動する」との文言が削除された。利下げ打ち止めが示唆されたとの見方にドル買いが強まり、109.28まで買われるが、米金利が低下に転じると、ドル円も売りに圧迫され、108.72まで反落。終盤は小幅に値を戻し、108.85レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、仏第三四半期GDPが予想を上回ったこと等がユーロ買いをサポートし、一時1.1127まで上昇。しかし、100日移動平均線付近で上値が重くなり、1.1107まで反落し、1.1114レベルでNYオープン。朝方は米GDP発表を受けてドル買いが進み、1.1104まで下落。その後、独CPI速報値が発表され、予想以上の伸びにユーロの買い戻しが入り、一時1.1117まで上昇するが、滞空時間は短く、直ぐに押し戻される。FOMC発表後にドル買いが強まったことから、安値1.1080を切れるが、その後、米金利低下を受けてドルが売りに転じたことから1.1151まで反発。終盤は高値圏で小動きとなり、1.1150レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	4	5
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	4	5